



Title	2002(H.14)年度福井高校選択科目シラバス
Author(s)	
Citation	臨床哲学のメチエ. 2003, 11, p. 7-7
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/6614
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

大阪大学臨床哲学研究室
2002 (H.14) 年度福井高校選択科目シラバス

対象： 2年生

科目名 出会いのてつがく

目的

社会のいろいろな場所で生活している人たちと出会ったり、話し合ったりするなかで、学校の教科書からは学ぶことのできないもの学んでみませんか。

具体的学習内容

看護やリハビリ、マスコミ、ファッショ、大学など、社会のさまざまな領域についての見聞を広めるとともに、自分たちの身の回りのことを素材にして、自分の意見を言ったり、他人の意見を聴いたりするなかで、「自分」や「他人」、「社会」についての理解を深めましょう。

その他

大阪大学臨床哲学研究室のメンバーが担当します。

実習費 500 円程度（雑誌編集費として）

年間計画

1学期 出会って、知ろう

看護士や理学療法士、元雑誌編集者、ラジオ番組のDJ、服飾販売員、大学の先生や学生など、「臨床哲学研究室」に集まるバラエティあふれる人たちと出会って、話し合おう。

2学期 話して、聴こう

自分たちの身の回りの生活のこと（好きな音楽やファッショ、映画、マンガ、テレビ番組など）について、みんなに話そう。また、みんなの話を聴こう。

3学期 みんなで作ろう

1学期、2学期に面白いと思ったことを、もっと取材して、自分たちの雑誌を作つてみよう。